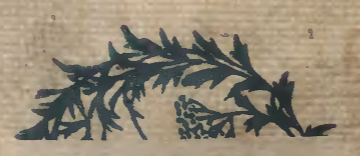
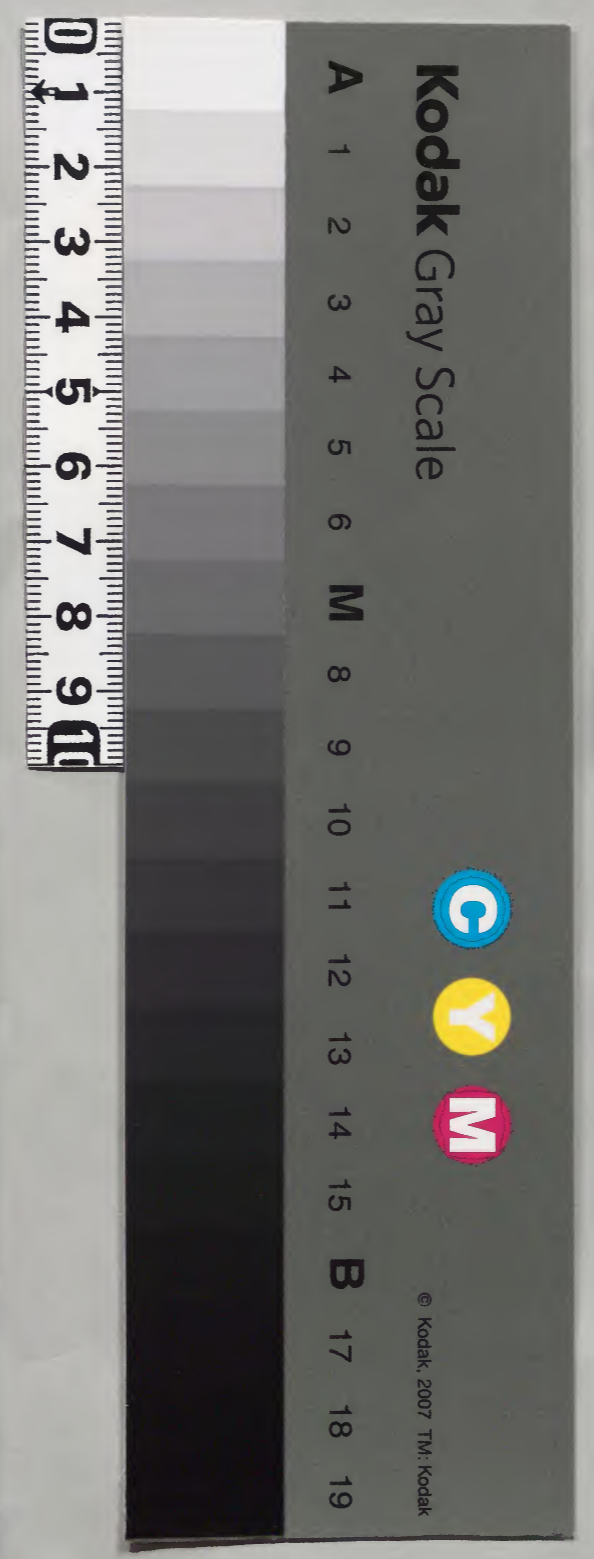


花鳥海情

自著小冊子四



内閣文庫		庫文閣内	
番號	和 27304	函	二七三〇
冊數	14 (2)	架	五 四
函號	203	架	冊 號 類
	6		



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

西の道に... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

花の... 花の... の

我と美人と日移しきまゝあつたる也
毛待の歯如執摩とつる美人の歯哉とこのまの
日まゝとつる事いあら礼いあきり家のあつた女と
なす

あつた人の家よな
奥入るゑある九条殿にお更す人さくへのせ
れ説よの花園の女くくくある殿は月輪又遠く
乃事くは海よのせなる事いあつた女とつた
気哉とくくく
いゝあつた女とつた女とつた女とつた女と

あつた女とつた女とつた女とつた女と

りんごの女とつた女とつた女とつた女と

あつた女とつた女とつた女とつた女と

あつた女とつた女とつた女とつた女と

あつた女とつた女とつた女とつた女と

あつた女とつた女とつた女とつた女と

あつた女とつた女とつた女とつた女と

あつた女とつた女とつた女とつた女と


~~~~~れい~~~~~れ後の~~~~~なり

~~~~~後~~~~~急~~~~~人の~~~~~

~~~~~家~~~~~山~~~~~後~~~~~

~~~~~せ~~~~~り~~~~~

~~~~~れ~~~~~行~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~き~~~~~り~~~~~く~~~~~り~~~~~ 結十月篇三日在九月を

~~~~~戸~~~~~十~~~~~月~~~~~桂~~~~~梓~~~~~入~~~~~

~~~~~後~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~く~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

~~~~~の~~~~~り~~~~~

神身乃人くはるぬいなるはるぬいふるわなるいふみ
るい又くはるぬいなる

あまのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
まのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
るい又くはるぬいなる

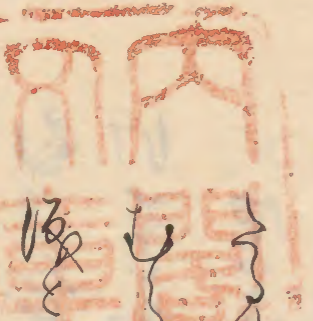
あまのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
まのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
るい又くはるぬいなる
四国所のあまを奉いへ後付たのあまいふるわなるいふみ
りんと名福をらふ殿を御との井せの侍長きとい
ふなはるぬいなるいふるわなるいふみ
中あまの井中とらふと名福と曰まへはるぬいなるいふみ
まのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ

いふるわなるいふみ

あまのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
まのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
るい又くはるぬいなる

あまのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
まのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
るい又くはるぬいなる

延喜八年清淨殿拜慮後貞
崇法師假後涼殿の時関大人足音気邪神不為世に
見季形之祀



あまのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
まのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
るい又くはるぬいなる

あまのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
まのりくはるぬいなるいふるわなるいふみ
るい又くはるぬいなる

ふしうふしうの 佛のまゝ香くと名香とらし牛乳椀

檀香と名ある香とくし

ふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしう

この香をよみて十葉とらうの事なすしあまのあまのあまのあまの

乃いもあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

その名をよみてふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしう

れはあまのあま

ふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしう

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

松花すくわとらうの香をよみてふしうふしうふしうふしうふしうふしう

ねくふの香をよみてふしうふしうふしうふしうふしうふしうふしう

たろの初香れらるの香をよみてふしうふしうふしうふしうふしうふしう

たれもあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

命婦の御名は...
人...
命婦の御名は...
命婦の御名は...

命婦の御名は...
命婦の御名は...
命婦の御名は...
命婦の御名は...

命婦の御名は...
命婦の御名は...
命婦の御名は...
命婦の御名は...

命婦の御名は...
命婦の御名は...
命婦の御名は...
命婦の御名は...

系鴨毛車志黒龍巻ハさえおけら著客浼江件
雲一似持来為言地見ハ言大患之
き一似官 政官をさるる

胡口ては形めきさひれさけさるるさるるさるるさるる
^{巻集} 物さやれ形さるるさるるさるるさるるさるる
すらのさるるさるるさるるさるるさるる

たはさるるさるるさるるさるるさるるさるる
とあるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
あさるるさるるさるるさるるさるるさるる

のさるるさるるさるるさるるさるるさるる
たさるるさるるさるるさるるさるるさるる
あさるるさるるさるるさるるさるるさるる

とあるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
もさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
あさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
たさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
あさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる

白成素中吟子知て形不敬光を神を遍とあるを
さるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
れさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
あさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
たさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
あさるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる

くわしち井いしちをりしきしをまらふ

ししちのむめをれ事くられ井い紅糸をりし

とらりめ山海經云東海を黒連國其俗婦人産毛

絲々桑田本ハ東海の中ハ國ハ俗ハなぬやむ

ししちをまらふ其ハ糸をりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

ししちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

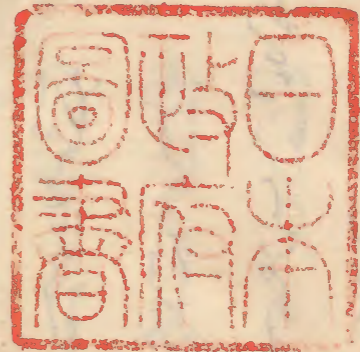
あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

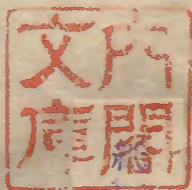
あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし

あしちをりしをりしをりしをりしをりし



Faint handwritten text in seal script, likely bleed-through from the reverse side of the page.



36

枚

